

健康安全教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を送る態度を育てる。	○業間休みのマラソンや個人縄跳び、長縄跳びの取組をしたことで、運動量が確保できた。 ○命を守る訓練を教室からの避難だけでなく、特別教室や運動場での避難、高所避難等、様々な避難方法を実際に行うことで防災意識を向上させることができた。 △感染症対策の徹底と、児童生徒自身が健康に生活できる行動を選択することができるような指導を継続する。	A	B	B
			85.3	76.3	75.8
特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる。	○特別支援学級担任と交流学級担任とが連携をとり、児童生徒の実態に合わせてながら交流の学習を進めることができた。 ○特別支援コーディネーターを中心に保護者や関係機関と連絡を密に取り、情報交流をしたことで、児童が安心して学校生活を送ることができた。 △特別支援学級や通級指導教室についての理解を深めるために、保護者や地域へ情報提供する。	A	B	A
			84.9	76.8	80.8
人権教育	自他の大切さを認め、互いに人権を尊重する望ましい人間関係を醸成する。	○日常生活の様子や毎月のアンケート等から、いじめや差別が起こらないように全校で継続的に取り組むことができた。 ○「かがやき見つけ・よいこと見つけ」等の日々の取組と「いじめ0宣言」等のひびきあい集会に向けた取組の両面から人権意識を高めることができた。 △12月のひびきあい集会の時期だけでなく、今後も年間を通して人権意識を高める活動を計画的に実施する。	A	A	A
			83.9	83.3	80.3
ICT教育・図書館教育	教育の情報化を推進するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成する。	○ICTフィールド校(大敷小・輪之内中)が中心となって授業実践を行い、町内の学校へ実践紹介や情報発信することができた。 ○一人一台のタブレットを活用し、家庭学習においてドリルパークを行ったり、クラスルームで課題を配信したりすることができた。 △家庭と協力して、タブレット取り扱いの約束の徹底や情報モラルを高める取り組みを実施する。	A	A	A
			86.6	82.8	85.1

社会教育

領域	重点目標	成果と課題	R3評価	R2評価	R1評価
家庭教育	家庭教育に関する学習機会の提供。 子育ての支援と教育環境の整備。 地域づくり会議やPTA等の連携。	○新型コロナウイルス感染予防のため、家庭教育学級の事業が縮小され、各園各校とも在宅型取組型が行われた。こども園は、夏休みに「おやくそく」で参加率は約80%であった。各小中学校は、クッキング、お手伝い、家庭学習強化週間等で年間1〜5回開催され、参加率はほぼ100%であった。 △町主催の合同家庭教育学級は、外部講師による講演型は年間3回計画したが、新型コロナウイルス感染予防のため1回しか開催できなかった。参加者も新型コロナウイルス感染予防のため少なかった。	B	A	A
地域教育	子どもたちの社会参加・地域活動の促進。	○青少年育成町民会議に関わる地域作り諸行事にかかわって小中学生がネットモラルに関わる標語等の募集に積極的に参加できた。 △「輪之内町情報モラル宣言」を家庭・学校で取り組んだが、新型コロナウイルス感染症予防のため地域づくり事業は中止となった。形式を工夫するなどして継続する必要がある。	B	B	A
生涯学習環境	家庭、学校、地域社会が連携し、社会全体で子どもたちをはぐくむ地域づくり活動の推進。	○高齢者教室「みつば学級」を開設し、教養・健康・軽スポーツなど、その時々に応じた分野の講座を毎年をとおして実施し、高齢者の生涯学習に取り組んだ。 △新型コロナウイルス感染予防のため前半は事業を中止した。後半は青少年育成町民会議に関わる地域づくり諸行事を規模や回数を縮小したが実施し、豊かな体験活動、健全な社会環境づくりを進めた。 △新型コロナウイルス感染予防のため夏休みが大幅に縮小され、小学生対象の総合的な体験学習講座である「わのうち未来塾」を実施することができなかった。	B	B	A
生涯学習体制・指導者	地域における主体的な社会教育活動を支援する取組の推進。	○町および地区の青少年育成推進員の方のご尽力により、各地区における活動が関係諸団体と連携を図りながら進められ、豊かな体験活動や啓蒙活動、健全な社会環境づくりに貢献した。 △子どもたちが主体となった活動を意図的に仕組んでいきたい。	B	B	A
芸術文化の振興	文化芸術活動の振興。 子どもの文化芸術体験の充実。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子ども会の行事である「インリーダー研修会」をはじめとする子ども会の行事は全て中止となった。 文化協会主催である町文化祭・芸能祭は昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により開催出来なかった。	-	-	A
伝統文化と郷土の歴史の保護継承	文化財や伝統芸能の保存・伝承・活用への支援。	○小学生に対して文化財の理解をすすめるため、文化財保護審議委員会で冊子「輪之内町の文化財」の小学生版の作成に継続して取り組んだ。 △伝統文化財継承(5団体)は、新型コロナウイルス感染防止のため、3団体のみ活動を計画したが、十分な活動ができなかった。	B	A	A
スポーツ推進体制	スポーツ環境の諸整備(スポーツ推進体制の充実と施設の整備)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、小学校区ごとに「地区スポーツ振興会」を設置し、ふれあい運動会を計画していたが、中止となった。 △利用者増加に伴い、希望日の重複が発生している。予約システム等で使用の平等な環境を整備していきたい。			
	生涯スポーツの振興(県民1スポーツ運動)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、スポーツクラブが運営する体験型のスポーツ、レクリエーションイベントは中止となった。 △直接の町組織ではないが、クラブ運営の安定化に向け、人材確保が急務である。	-	-	A
	「県民1スポーツ運動」具現のための指導者育成	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、スポーツ推進委員やレクリエーション協会の有識者が、講習会等で助言する機会が無かった。地区スポーツ推進委員が参加する事業も、全て中止となった。			